

マレーシア 大学トップ2校

	学校名	所在地	規模	ホームページ	特徴
1	マラヤ大学 (Universiti Malaya (UM))	クアラルンプール	学生総数:34,656 https://hep.um.edu.my/	https://www.um.edu.my/	1905年にマレーシアで最初に創立された大学であり、随一の総合大学。1905年発足のEdward VII王医科大学に起源をもち、1949年ラップルズ大学（1928年に設立）と合併されてマラヤ大学に改組された。国際的な高等教育の推進のため、大学の国際化にも力を入れている。マレーシア出身の学生に加え、約80か国からの留学生を受け入れている。309ヘクタールの広大なキャンパスを有しており、マハティール元首相を含む同国の各界のリーダーを輩出している。そのうち、3700人が留学生（学部生700人、大学院生3000人）であり、アジアを中心とした各国から学生を受け入れている。同大学の海洋地球科学研究所は、海洋資源の持続的 management のために2003年に設立されたマレーシアで初めての研究所であり、海洋科学に関する研究、教育、研修を幅広く行っている。歯学部は1971年に設立された。現在17の研究室を擁する、歯科教育・研究を総合的にカバーする学部である。マラヤ大学は、研究大学を目指すために、4年ほど前から、ファースト・クラス・バチェラーディグリーという新たな制度を設けている。この制度は、マラヤ大学の優秀な学部生が、修士課程を経ないで、博士課程に進学することができるというプログラムである。世界大学ランキング（QS ランキング 2019）では87位、アジア大学ランキングでは19位となっており、約26000あるとされる総合大学の中でトップ1%の実力を誇る。科学・工学系では35位(2017-2018)にランクされる。2015年のQS社の世界大学ランキングにおいて、世界133位、アジア地域27位。工学分野で54位、開発学は30位の評価を受け、総合評価では世界146位アジア29位に選ばれている。材料科学・接合科学についての研究センターも有するなど、材料科学・溶接接合に関する研究も精力的に行っている。12学部、2学院、3研究センター、学部生7599人、大学院生6269人、留学生数3,712人、教員数2,807人を擁する。図書館は1959年設立、中央図書館ほか14の専門図書館で構成されている。所蔵資料数523万冊以上、ジャウィ文字を含む古手稿1000点のデジタルアーカイブを公開している。"
2	マレーシアプトラ大学 (Universiti Putra Malaysia (UPM))	セランゴール州	学生総数:28,841	http://upm.edu.my/	マレーシア・プトラ大学は、1931年に農科大学として創設されたマレーシアの総合大学であり、農学、獣医学、医学、工学、教育各分野の教育研究を網羅する高等教育機関として中心的な役割を担っている。首都クアラルンプール南部郊外に位置し、前身は農業大学であったため広大な敷地を有し、その広さはアジアでも有数である。現在は16学部と9つの研究センターを持ち、学生数約25,000人、職員数1千人の総合大学で、マレーシア国内はもとより国際的な評価も高い。ASEAN諸国から優秀な学生が集まっている。SerdangキャンパスとBintuluキャンパスからなるマレーシア国内ベスト5の国家重点総合大学である。17学部から構成。学生数は約25,000名。アジアで12130位世界で601800位にあるマレーシアでものトップにランキングされている大学の一つである。中でも農学部はマレーシアでNo.1となっている。農学系の研究はトップクラスであり、バイオマスのリサイクルなどの研究は活発な分野となっている。日本とは、東南アジア地域の工学分野のトップ大学の連合体であるSEED-Netのメンバー校として関係が深く、2013年にはSEED-Netの機械・製造工学分野の地域会議をホスト校として企画実施に貢献している。教育はほぼ全てが英語で行われていることから研究者、学生の国際交流が盛んに行なわれている。2019年度のTHEランキングは801-1000、アジアランキング188、QSランキング202であり、特に国際性が高く評価されている。2016年QSアジア大学ランキングでは49位にランクインしている。
3	マレーシア国立大学 (National University of Malaysia)	セランゴール州	学生総数:26,961	https://www.ukm.my/portal/	マレーシア国立大学は1970年に設立されたマレーシアを代表する国立総合大学である。マレーシア政府が指定する5大研究大学のひとつであり、13の学部と12のリサーチセンターを有している。2006年にマレーシアの高等教育省（Ministry of Higher Education of Malaysia）よりマレーシア研究大学（Malaysian Research University）の称号を与えられ、2020年まで特別研究推進大学としての扱いを受けることになっている。現在、年間およそ28000名(大学院生11859名、学部生16638名)の学生が在籍しており、これまでに、約20万名の優秀な卒業生を輩出している。その中で工学・構築環境部は、レベルの高い学部であり、年間公表している論文数も多く、優れた研究業績をあげている。イギリスの大学評価機関によるランキングQS World University Rankingsにおいては2020年度に160位にランクされるなど国際的にも非常に高く評価されている。卒業生として保健省入省者を数多く輩出しておりマレーシアの医学・公衆衛生学分野への影響が大きい。教育学術分野における開学以来の実績により、マレーシア政府より、国の教育研究をリードする4つの研究大学のうちの1つに認定されており、マレーシア首相賞を受賞している。大学に在籍している学生数は現在32209人である。キャンパスの広さは1,096ヘクタールで、クアラルンプール国際空港、主要な商業の中心地であるクアラルンプール、および行政首都であるプトラジャヤを含む大都市に位置している。
4	マレーシア科学大学 (University of Science, Malaysia)	ペナン州	学生総数:24,375	https://www.usm.my/	1969年にUniversiti Pulau Pinangとして創立され、1971年にUniversiti Sains Malaysiaに名称変更した国立総合大学。マレーシア第2の大学として設立され、ペナン島に立地する。マレーシアの先駆的大学のひとつで、学際的な研究を集中的に行っている。マレーシアの研究大学のひとつでもあり、2008年マレーシア政府によって、Accelerated Programme for Excellence(APEX)大学として指定された。APEX大学とは、2007年にマレーシア政府が発表した「National Higher Education Strategic Plan (P S P T N)」の7つの重点施策の一つである、研究およびイノベーション力の強化を実現するためのアクションプランとして策定された。考古学、歯学、分子薬学、科学など幅広い分野の17のリサーチセンターがあり、2008年には国内で初めてA P E X Iに選抜され、世界的に知られる大学となった。マレーシアを代表する研究大学として活発な研究活動と理工学系の人材育成を行っている。マレーシアにおける研究志向性のあるトップクラスの大学である。応用科学工学系、教養系、基礎科学系に分かれ、23学部と通信教育学部の1部の合計24学部を有している。教員数2,206名が所属している。学生数は30,000人を超える。マレーシア国で指定された5つの研究拠点大学のひとつであり、環境科学、ICT、工業化学、土木工学の分野が強い。政策により多くの学生が日本で学べるようになり、研究者の間でも日本への留学経験者が比較的多い。ペナン島のメインキャンパス、大陸部のエンジニアリングキャンパス、医学系のHealthキャンパス(Kubang Kerian)の3つに分かれている。17の研究センターをもつ。物理学部だけでも50名以上の教員を擁し幅広い領域で研究を行っている。2007年よりマレーシア高等教育省からマレーシアで唯一Research Intensive Universityの認定を受けている。英国の大学ランキングTimes Higher Education World University Rankings（2010年）ではマレーシア科学大学は世界309位、アジア69位、マレーシア第3位である。26学部を持ち、「科学」「技術」「健康科学（含・医学）」の3つのキャンパスに分かれている。マレーシアトップクラスの大学で、2万人強の学生・院生を抱えている。中でも工学研究科は最も研究が盛んであり、我が国との学術交流も盛んで、今後のマレーシアをリードする大学である。土木工学部・研究科においては、学部及び大学院ともに質の高い研究・教育レベルを維持し、年間公表している論文数も多く、優れた研究業績収め、産業界や公的機関から高い評価を受けている。

5	Universiti Teknologi Malaysia	ジョホール	学生総数:21,471 (2015)	https://www.utm.my	マレーシア工科大学 (UTM) は、QS大学ランキングで世界で187位にランクされているマレーシアの主要な公的研究集約型大学です。その教授言語は英語です。工学、科学、技術を専門としています。ジョホール州スクダイにあり、クアラルンプールに支部キャンパスがあります。UTMは大学院に焦点を当てた大学であり、学生人口の56%が大学院生で構成されており、マレーシアで最も高い大学です。2015年の時点で、UTMには120か国以上から5,000人以上の留學生がおり、マレーシアで最も高い研究大学です。
6	テイラーズ大学 (Taylor's University)	セランゴール州	—	https://university.taylors.edu.my/en.html	テイラーズ大学は1969年にTaylor's Education Groupによって設立され、マレーシアで最高ランクに属する私立大学である。2008年、2009年に"Most Popular Private College and/or University in Malaysia"に選出されたことを始めとして、2009年、2011年に高等教育省格付システムにより最上格のティア5を2期連続で取得している。
7	UCSI大学 (UCSI University)	クアラルンプール	学生総数:12,000	https://www.ucsiuniversity.edu.my/	1986年に設立された私立大学であり、学生8000人を超える総合大学。また海外大学との連携によるグローバル教育への取組みが盛んに行われており、在校生のうち半数近くが留學生である。
8	テナガナショナル大学 (Universiti Teknologi PETRONAS (UTP))	セランゴール州	—	https://www.uniten.edu.my/	マレーシアの国営電力会社 Tenaga National Berhad (TNB) が運営する、電気・電子系、及びエネルギー系に強みを持つ総合大学。The Energy University を標榜し、マレーシアの発電・供給・運営インフラの基盤を担う人材を育成する、国家的にも重要な教育機関。1997年設立と比較的若く、教員・学生とも他国の大学との連携、国際活動に非常に積極的。THE, QS という大学格付け機関の世界ランキングでもともに1,000位以内と、良好な評価を受けている。UNITEN学内で日本の大学と提携したいという強い要望があることから、本年1月に国際担当のDr. Zuraidah から本学マレーシアオフィスに連絡が入り、すぐに協定(MOU) 締結を基本合意した。そしてすぐに、共同研究・活動の協議を開始し、3月には両校学生合同によるマレーシアでの日系企業工場見学を実施した。これに続き、UNITEN教職員を芝浦に派遣する短期ワークショップを今年中に行いたいという要請を受け、今回のSSP申請に至った。
9	ウタラマレーシア大学 (Universiti Utara Malaysia (UUM))	ケダ州	学生総数:30,670	http://www.uum.edu.my/	国立ウタラマレーシア大学は、ビジネス、文理、および法律・政治・国際の3つの学術領域にカレッジおよび大学院を持ち、それらの下に14のスクールを持つ学際的な大学である。学生数は約3万人であり、42以上の国から留學生を受け入れている。14スクールの一つであるSchool of Computingでは、情報技術、情報システム、計算機科学、ソフトウェア工学の研究教育を行っており、マレーシアにおける情報通信技術の導入に貢献する研究グループを有している。UUMは、人類の繁栄と平和のために人的資源と天然資源を科学的かつ創造的に計画および管理する上で高い自由度の能力とリーダーシップの資質を備えた卒業生を生み出すという目標に専念している。
10	マレーシア経営科学大学 (Management and Science University)	セランゴール州	学生総数:14,999	https://www.msu.edu.my/	首都クアラルンプールの郊外の都市Shah Alamにある総合大学。医学部を含む11学部を擁する。
11	マレーシア国際イスラム大学 (International Islamic University Malaysia (IIUM))	セランゴール州	学生総数:26,266	https://www.iiu.edu.my/	マレーシア国際イスラム大学 (IIUM) は、1983年にマレーシア政府によって設立され、イスラム協力機構 (OIC) といくつかのイスラム教団によって共同出資された公立の総合大学である。「国際大学」として、全学部の授業で英語が使用され、特にアラビア語の教育を充実させている。マレーシア人のほか、イスラム圏からの留學生を多数受け入れており、世界120以上の国から、学生、スタッフを集めている。学生の多くは2ヶ国以上の言語を習得しており、地理的、文化的な多様性を反映した大学である。非イスラム圏からは中国、韓国からの留學生を受け入れている。2016年には言語マネジメント学部日本語学科が開講され、マレーシアでは2番目の日本語学位プログラムとなった。
12	マラ工科大学 (Universiti Teknologi MARA - UiTM)	セランゴール州	学生総数:160,957	https://uitm.edu.my/index.php/en/	1956年に創設されたマレーシア国全土にキャンパスをもつ国内最大規模の国立大学で、マレー系国民の高等教育を目的として創設された。全国21州にサテライトキャンパスを有するマレーシア最大規模の大学である。1大学2システムと呼ばれる通り、UiTMは12の州立大学とそれを統括する1大学からなる。学生数 1万46千人、教員数1万7千人である。2018年QSランキングで751~800位、マレーシア国内の大学では9位に位置する。約17000名の教員と約172000名の学生が在籍している。3学環計24学部および4研究所からなり、国内には12の州に20か所以上のキャンパスを有している。
13	Sunway University	セランゴール州	学生総数:8000	https://university.sunway.edu.my/	大学のビジョンは「世界クラスの大学になる」 <大学の使命> オールラウンドな個人を育成し、私たちの社会とグローバルコミュニティのニーズを満たす知識の発見、進歩、伝達、応用に専念すること <4大学の信条> サンウェイ大学は、誠実さと卓越性、企業、プロフェッショナルリズム、経済的自立、革新、相互尊重、チームスピリットへの揺るぎない献身でその使命を遂行する <教育目標> サンウェイ大学の学生は 知識を積極的に追求し、経済的、政治的、社会的、文化的発展へのグローバルな応用を評価する、独立した生涯学習者になる 急速に変化する経済的、社会的、技術的世界に貢献する能力と能力を備える 強力なリーダーシップの資質とコミュニケーションスキルを開発する 生産的で充実した有意義な生活を送ることを可能にするキャリアに備える 誠実さを大切にし、倫理的で、説明責任があり、思いやりがあり、責任ある社会の一員となる
14	Universiti Tenaga Nasional (UNITEN)	セランゴール州	学生総数:8000	https://www.uniten.edu.my/	UNITENは、マレーシアのセランゴールにある私立大学で、GLC大学のステータスを保持している。1999年に設立された上場企業 Tenaga Nasional Berhad (TNB) が運営している。
15	マレーシアパハン大学 (Universiti Malaysia Pahang)	パハン州	数:12,320	https://www.ump.edu.my/	2002年にマレーシア政府により設立された工学・技術を学ぶ公立の技術大学である。マレーシアの東海岸工業地帯にあり、学生数は約10,000人、教育言語は英語。パハン大学の前身はUniversity College of Engineering & Technology Malaysia (1971年創立) であることも分かるように、特に工学と科学技術に特化している。以下に示す8学科、2センターから成り立っている。マレーシア半島の東海岸工業地帯に位置し、最新の産業技術と密接な連携がある。また、e-ラーニングやe-マネージメントを行う最新のICTシステムを導入している点も特徴である。2017年のマレーシア国内における大学ランキングでは第16位 (World University Search Engine) となっており、またマレーシアの技術大学は専門分野に特化しており、その技術は世界の中でも高く評価されている。マレーシア大学ランキングは14位 (Top Universities in Malaysia 2019 Malaysian University Ranking参照)。

16	マルメディア大学 (Multimedia University (MMU))	セランゴール州	—	https://www.mmu.edu.my/	マレーシアの長期国家計画Multimedia Super Corridor Planの一環として1997年に私立大学法により首相府・関連省庁主導で、マハティール元首相により創設された自由競争をモットーとする国際大学。8学部13研究センターと大学院を擁する。サイバージャヤ、マラッカ、ジョホールバルにキャンパスを置き、南などに分校を持つ。学内の共通語は英語。現在学長、副学長ともに東京工業大学の出身。学部生約20,000名、大学院生約1,100名が在籍、内約4,400名は約80カ国からの国際留学生。大学の入試倍率は創設以来国内トップで、極めて優秀な学生を選抜し、日本へも国費留学生を多数出している。教員数約1,800名。その多くは欧米・日・豪の留学経験者。2008年ISO9001取得。
17	サラワク大学 (Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS))	サラワク州	https://www.unimas.my/	—	サラワク大学は、1992年設立のマレーシアで8番目の大学。9学部、42専攻、39研究科、学生数16,492人、教員数830人、職員数1471人を擁する。93年に中央図書館、2002年に医学部図書館が設立され、学術情報サービスセンター(CAIS)が運営を統括している。スタッフ数87人、図書242,610冊以上、オンラインジャーナル74,715タイトルを所蔵。ディスプレイ型検索OPACシステムCAIS One Searchを独自に運用している。サラワク州の最高学府、州都クチンに広大なキャンパスを有し、公用語はマレー語と英語。情報工学部、医学部、経済学部等8学部、言語研究センター、9研究センター、42学科、39大学院コースを擁する。現在学部生約14,000名、大学院生約1,350名、大学予科生約700名が在籍。教員数約2,180名。2000年にISO9001、27001取得。 2013年の統計で14,033人の学部学生、1,343人の大学院生が在籍。大学スタッフは2,189人である。マラリアを中心とした医学生態学、生物地理学、農学、生物多様性を考慮した生物資源管理・環境管理学、地域における情報通信技術などに力を入れている。本学と平成21年から学術交流協定を締結して交流を行っている。今後とも、国連が勧めているSDGSを基本にESDプロジェクトや熱帯林再生の研究と地域住民が主体となった熱帯林の保全と復元事業を当協会とともに進める計画となっている。
18	トゥンクアブドゥラーマン大学 (Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR))	セランゴール州	学生総数:23,000	https://www.utar.edu.my/	トゥンクアブドゥラーマン大学(UTAR)は、マレーシア、セランゴール州のスンガイロンクに質の高い教育を提供する非営利私立大学として2002年8月13日にUTAR教育財団の下で設立された。1964年に設立されたKolej Tunku Abdul Rahman(短大)が母体。マレーシア政府は、知識ベース・イノベーション推進型の経済における複雑なニーズを満たす人材を提供する場として民間教育産業を重視しはじめており、その一環として本大学は設立された。教育および研究双方において、高い評価を得ている。 9つの学部:薬学・健康科学部、会計・経営学部、芸術・社会科学部、ビジネス・財務学部、クリエイティブ・インダストリー学部、理学部、理工学部、環境工学部、情報工学部から構成される。教職員数1,994人(教員1,265(常勤1,240、非常勤25)、職員729)、全学生数25,982人で、そのうち701人が大学院生。 浅い歴史にもかかわらず、英タイムズ・ハイアー・エデュケーションの世界大学ランキング2019で501-600位、アジア大学ランキング2018で99位、2018マレーシア大学ランキングでは10位にランクインしているマレーシアでも有数の私立総合大学である。 2019年1月30日現在の正規学生総数は18,440人、専任の教員数は1,146人と大規模で、9つの学部、4つのセンター、3つの研究所で110以上の学術プログラムを有しており、多様な分野における研究と学術的発展を促進することにも力を入れている。 企業からの卒業生に対する評価は高く、日系企業に就職している卒業生も多い。
19	マレーシアペルリス大学 (Universiti Malaysia Perlis)	ペルリス州	学生総数:14,000	https://www.unimap.edu.my/index.php/en/	マレーシアペルリス大学は、マレーシア最北のタイ国境に近いペルリス州にある。マレーシアの高等教育機関の中で上位の大学である。学生数は約13,488人であり、工学の修士課程、博士課程も設置されている。 マレーシアで17番目に設立された国立大学である。元々はマレーシア北部工科大学であったが、2001年にマレーシアペルリス大学として設立されたため、10の工学系学部(26の学科)から構成される工科大学として知られている。 現在は約1万4千人の学生が学んでおり、教職員数は約2200名所属しており、工科大学としては比較的大規模である。バイオをはじめとした次世代農業に取り組む農学部、マイクロエレクトロニクス分野で最先端研究を手がける工学部は世界的にも著名。 「校内での一環したものづくり」を研究ポリシーに掲げ、抜群の研究環境を誇っている。マレーシアの20の公立大学のうちの1つであり、理工系に特化した大学である。地理情報関係の学科はあるが、衛星測位については発展途上である。
20	マレーシアサバ大学 (Universiti Malaysia Sabah (UMS))	サバ州	学生総数:17,576	https://ums.edu.my/	サバ大学は1994年に設立された国立大学で、マレーシアのサバ州初唯一の国立総合大学。マレーシアで9番目の公立大学。国立公園で有名なコタキナバルに位置している。13学部(文系、理系、医学、水産学など)・研究科と3つの研究所を持つ総合大学で、学部のほかに熱帯生物保全研究所(ITBC)など3つの「Centres of Excellence」がある。サンダカン市、ラバン島にもキャンパスを有する。国内外の様々な大学、研究機関や企業と協定を結び、先進的な教育や研究を行っている。学生数は18,045人、教員数は1056人(2017年1月現在)である。ITBCは主として大学院であるが、保全生物学コースとして大学生も在籍している。授業は英語で実施され、第2外国語として日本語、韓国語等があり、日本語は約360人が学ぶ人気外国語として開講されている。日本を始めとした海外の大学との交流が盛んに行われており、マレーシアの国立大学では難しいとされている留学生の受け入れに、積極的な大学である。 日本への留学経験のある研究者が勤務し、国内外の様々な大学、研究機関や企業と協定を結び先進的な教育や研究を行っている。 保全生物学コースの修了生の約30~40%が修士課程や博士課程進学を希望し、マラヤ大学や海外の大学院へ進む者も多い。2015年度には、2名が酪農学園大学の大学院へ進学し、現在、その内の1名が酪農学園大学の非常勤講師として勤務している。 日本の大学との繋がりは特に強い。本研修への選抜は、ITBC1・2年生約100名のうち、学業成績の上位20位までの者で、日本の大学院進学へ興味を持ち、最先端の自然環境保全の全手法を学びたいと希望する者の中から選抜する。 医学・保健科学部は、特に公衆衛生学や家庭医療学の分野ではマレーシアを代表する教育研究機関のひとつであり、その分野に特化した大学院(修士及び博士課程)を設置している。熱帯生物学保全研究所は、マレーシアおよび東南アジア地域における生物多様性と保全研究の世界的中心として重要な役割を果たしている。また、サバの文化と生物の多様性を学際的に研究する小島嶼研究所もある。 マレーシアが力を入れる情報・金融などの教育に加え、サバ州で唯一の国立大学として、海洋学や水産学、生物多様性、環境負荷の少ない開発、多様な民族文化の保持、地域医療やへき地医療など、サバ州で求められている教育・研究に特に力を入れている。 海洋・水産分野では、ボルネオ海洋研究所が置かれ、海洋科学・養殖学を中心に海洋資源の持続的利用と保全を目指す教育・研究を行っている。キャンパス環境整備や大学による環境問題への取り組みにも力を入れ、2015年「世界で最も環境に優しい大学ランキング(Ui GreenMetric)」173位に位置する大学である。

21	Universiti Kuala Lumpur	クアラルンプール	学生総数:30500	https://www.unikl.edu.my/	ユニバーシティクアラルンプール (UniKL) は、マレーシアのクアラルンプールにメインキャンパスを置くマルチキャンパスの工科大学です。2009年、2011年、2013年にマレーシア高等教育省によってTier5「優秀大学」として評価されました[1] UniKLには、マレーシア全土のクアラルンプール、ゴンバク、チェラス、バンギ、カジャン、セバンの12のキャンパスに14の研究所があります。、Taboh Naning, Pasir Gudang, Ipoh, Lumut, Kulim。
22	マレーシア工科大学 (Universiti Teknikal Malaysia Melaka)	ジョホール州	学生総数:17,739	https://www.utm.my/	1904年に創設され、1942年に単科大学に、そして1971年に現在の形となる総合大学に発展したマレーシアの国立研究大学である。ジョホールバルに本部を置くマレーシアで最も古い理工系大学であり、マレーシアにおける工学系人材の2/3を輩出している国立の研究重点大学。分校は首都のクアラルンプールにある。研究大学としてもすぐれた実績を有し、国内の理工系人材の60%を輩出していると言われている。クアラルンプール校には、日本政府や20以上の日本の大学が支援して2010年に設立されたマレーシア日本国際工科院 (MJIT: Malaysia-Japan International Institute of Technology) があり、多くの日本人教員が教鞭をとっている。 MJIT (Malaysia-Japan International Institute of Technology) 図書室に日本は語資料コレクションがある。工科大学として機関リポジトリUTM-IR、デジタルコレクション構築・運営に力を入れている。学生の約56%が大学院生であり、5000人以上の留学生在が勉学と研究に励んでいる国際性豊かな研究大学であることは注目に値する。大学院大学として、革新的な教育と最先端の研究に対する名声を確立しており、創造的な人材の育成と高度な技術革新の実現をビジョンとしている。ジョホールにある12の学部の一つが土木工学部で、環境工学科は学部内4学科のうちの一つ。 機械精密工学、電子システム工学、環境工学・グリーン技術、技術経営学の4分野。学部から大学院博士課程まで、日本人派遣教員を含む約100名の教職員、400名の学生が在籍。世界100以上の国から3,000名以上の留学生在が学ぶ世界に開かれた国際大学でもある。メインキャンパスとなるジョホールバルの図書館は、スタッフ数174人、蔵書数43万冊以上、クアラルンプールの図書館はスタッフ数30人、蔵書数約11万冊。建築環境学部と廃棄物マネジメント研究センターは、マレーシア都市の低炭素社会のためのシナリオ評価などの研究を行っている。船舶海洋分野では、東南アジアにおける中核の一つであり、同大学は各種の国際会議のホストを務めている。世界唯一の海洋温度差発電(OTEC)に特化した研究センターがある。2015年9月には第3回の海洋温度差発電シンポジウムを開催する等、精力的に活動を行っている。18学部、Ph.D.取得教員数1,244人、ポストク13,780人、院生4,706人、学部生11,392人、留学生5,175人。日、米、英、豪、中などの国と連携している。